



2021年 5月 14日

各 位

会社名 山一電機株式会社
代表者名 代表取締役社長 太田 佳孝
(コード番号 6941 東証第一部)
問合せ先 取締役兼上席執行役員管理本部長 松田 一弘
(電話 03-3734-0115)

山一電機グループ「中期経営計画」について

当社は、2020年度を初年度とする中期経営計画を昨年に公表予定でしたが、米中の経済摩擦の影響や新型コロナウイルス感染症の拡大等により予測困難な状況となりましたので、やむなく公表を延期させていただきました。

このような中で2020年度の世界経済は、第1四半期は厳しい状況でありましたが、第2四半期より徐々に回復してまいりました。日本でも新型コロナウイルスワクチンの接種が始まっておりますが、一部の地域では急拡大により3度目の緊急事態宣言が発出されており依然厳しい状況にあります。しかしながら当社としては、継続してきた中期経営計画をかかえる状況により再度公表延期とすることはできないと判断し、1年遅れであります2020年度を初年度とする3ヵ年の山一電機グループ新中期経営計画（2021年3月期～2023年3月期）を策定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

1. 前中期経営計画の成果について

当社は、「お客様が満足いただける製品・サービスを提供できる会社」に成長することを経営目標として2017年度に山一電機グループ中期経営計画（2018年3月期～2020年3月期）を策定いたしました。

この経営目標の達成にあたり「グローバルに連携し、未来につながる製品の創造」という観点から取り組み、「成長戦略」と「構造改革」の2つの戦略を核に推進し、お客様のニーズに応えられる企業に成長すると共に、より一層の財務体質の強化と将来の成長に向けた経営基盤の強化を図ってまいりました。

中期経営計画期間中において米中経済摩擦の激化、新型コロナウイルス感染症の拡大等、世界情勢が大きく変動いたしました。このような状況の中で当社の業績結果は、3年間で連結売上高目標853億円に対し837億円、連結営業利益は目標102億円に対し102.8億円と、売上高では未達成ながら営業利益では何とか目標を達成することができました。

ROEにつきましては、2018年3月期 16.7%、2019年3月期 10.6%、2020年3月期 11.8%となり目標とした10%超を達成する事ができました。

連結配当性向は、2020年3月期に30%を目標に取り組み、1年前倒しして2019年3月期より達成する事ができました。

設備投資は、3ヵ年累計70億円を目標に取り組みました結果60億円となりましたが、全て自己資金で賄いました。

また、2015年3月期～2017年3月期の業績結果に対しては、連結売上高で106%（788億円 ⇒ 837億円）、連結営業利益では129%（80億円 ⇒ 102.8億円）と大きく伸長する事ができ、設備投資につきましても3億円の増加となりました。